

希少植物ヤブムグラ等の保全に対する要望書について

我々藤沢サンクチュアリの作業範囲内に希少植物であるヤブムグラが生息していること、どのような繁殖のサイクルがあるかは認識しており、神奈川県植物誌調査会の人とも総合的な保全管理方法全体について協議を重ねております。そのアドバイスに基づき、作業内容を決定しました。

1. 開花して種が結実した後に草刈りを行う。
2. 根でも増えるので、刈り払い機は地面から離して操作する。

以上から、11月植物に全く影響を与えない時期を選び、細心の注意を払って刈り払い機の操作を行いましたので希少植物ヤブムグラへの影響は全くありません。

人によっては手刈りでなくてはいけないという方がおりますが、昨年12月頃に健康の森で行った希少植物の現地状況調査を行った折、みどり保全課の石田氏が、「手刈りと機械刈りによる植物への影響の違いはない」とおっしゃってるように、機械を使ったことの影響も全くありません。

ヤブムグラの生息している地域は、3.4年前に下草刈りをして以来手を入れていません。ササもかなり生えてきて、ヤブムグラだけでなく、里山の林床に生える植物への影響が懸念されているので今回の作業になりました。以上のことから今回の保全作業によるヤブムグラの生息に支障をきたすことはなく他の植物にとっていい環境を作れたと思っています。

今後の希少種保全について

1. 希少種保全に適した方法かどうかを管理運営協議会で協議する。
2. 協議の内容、不適切な保全内容が会った場合でも各団体のHP、か個人のFBには載せない。
3. 希少種のある場所はHP等には載せない。